

1 WEEK キャンプ



- ◆事業目的： ●自然の中でおこなわれるアクティビティを通し、個人のチャレンジする心を養う。
●異年齢での活動を通し、苦楽を分かち合える友達をつくり、協力することの大切さを学ぶ。
- ◆参加者数：20名

小学5年生から高校2年生までの20名とスタッフ8名が、生活を共にしながら様々なプログラムに挑戦しました。今回のテーマは『仲間』。初めて会うメンバーにガチガチに緊張していた子どもたちも、1週間を通して、どんどん仲良くなっていきました。『仲間』って何？家族は仲間？クラスメイトは？みんなで考えながら『仲間』の定義を作り上げていきます。誰もが、声をかけられて嬉しいこともあれば、嫌なことだってある。辛い時こそ助けの手を差し伸べられる、助けてと言える。そんな関係を作っていこうねと話をしました。

1 WEEK キャンプでは、「野外炊事」、「手拭い染め」、班の仲を深めるための「アドベンチャーツアー」、「七沢自然ふれあいセンターへの遠征」、2mもの壁を班ごとに登った「川遊び」、炎天下の中20km歩ききった「チャレンジハイク」、班ごとにやりたいことを決めて活動した「フリータイム」、BBQにキャンプファイヤーと盛り沢山だった「ラストナイトパーティー」とさまざまな活動を行いました。

子どもたちの中に印象深く残っている活動は、「チャレンジハイク」ではないでしょうか。朝5時に遠征地から出発し、20km先の愛川ふれあいの村を目指します。4時間かけて急な階段だらけの山を抜け、炎天下の街へと踏み出します。体力は人それぞれ、この夏の異常な暑さに顔はほてりペースも落ちていきます。そんなときに助けになるのが、『仲間』の存在。「顔赤いけど、水飲んでる？」「ちょっと休憩する？」「あと少し、みんなで頑張って歩こうよ」辛い時こそ手を取り合い進んでいく。自分も辛いけど、周りの仲間も同じ経験をしているからこそお互いの言葉が励みになります。

1週間『仲間』と向き合い全力で楽しんだ子どもたち。楽しいことはもちろん、辛いこともあったけれど、それでも頑張った経験を忘れずに普段の生活でもたくさんの『仲間』の輪を広げてください。(文責：佐々木)

担当スタッフ：くり、しばていん、そい、カズ、わっしやー、とうちゃん、ゴルゴ、ひめちゃん